

平成29年度 課長方針

部課	教育部 教育総務課	課長	渡部 幸代
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の円滑な運営に努める。 ・貸付金の適正な管理に努める。 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、事務事業の点検評価を実施する。 ・学校施設的环境改善と機能の維持向上を図る。 ・常に市民の視点に立ちものごとを考え、行動し、市民から信頼される職員となるよう自己研鑽に努める。 ・業務遂行に当たっては、情報を共有し、相互に協力し合い、課題は職員全員で解決する。 ・蕨市を愛し、市民とともによりよいまちをつくろうとする気持ちを大事にする。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
入園・入学資金の貸し付け	審査委員会で貸し付けを受ける者の資格等を審査し、学校種別ごとに条例で定める額の範囲で貸し付けを行うとともに、返還金を管理する。	実際の貸し付けだけでなく、相談業務もより充実させ、経済的な理由で入園・入学資金の支払いが困難な保護者への支援を多面的に進める。また、返還金の適正な管理に努め、収納率の向上を目指す。	○	より多くの人に制度について知っていただくために、市ホームページや広報紙、教育総務課作成のポスター・チラシ、行政広報番組などを通じて、周知を図った。返還については、口座振替の勧奨を行うとともに、滞納対策として、電話相談及び専用封筒での督促のほか、臨宅訪問については、回数を増やして日曜日にも実施し、滞納債権の削減に努めた。
奨学金の貸与	選考委員会で貸与を受ける者の資格等を審査し、学校種別ごとに条例で定める額を貸与するとともに、返還金を管理する。	実際の貸与だけでなく、相談業務もより充実させ、経済的な理由で修学が困難な者への支援を多面的に進める。また、返還金の適正な管理に努め、収納率の向上を目指す。	○	より多くの人に制度について知っていただくために、市ホームページや広報紙、教育総務課作成のポスター・チラシ、行政広報番組などを通じて、周知を図った。返還については、口座振替の勧奨を行うとともに、滞納対策として、電話相談及び専用封筒での督促のほか、臨宅訪問については、回数を増やして日曜日にも実施し、滞納債権の削減に努めた。

事務事業の点検評価	事務事業の管理及び執行の状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表する。	教育委員会の事務事業の管理及び執行の状況から自ら点検評価するとともに外部評価を受け、その結果を今後の施策に生かす。	◎	教育委員会が所管する事業のうち、今年度は21事業について点検評価を実施した。外部評価での意見や助言などを踏まえ、担当部署で改善に取り組んだ。
学校施設改修事業	小・中学校施設の環境改善と機能の維持向上を図るための改修工事を実施する。	トイレ改修として、西小学校、中央東小学校、東中学校において、環境改善を目的とした改修を実施する。	◎	全ての事業を、予定通り年度内に完了することができた。
学校施設の適切な維持管理	児童・生徒が安全で快適に学校生活が過ごせるよう、学校施設の適切な維持管理を実施する。	学校と協力のうえ、施設の日常的な点検や、非構造部材などの定期的な点検を行い、適切な修繕等を実施する。	◎	定期的な点検の実施および適切な修繕の実施に努め、施設の安全な維持管理を実施することができた。
学校施設の改修計画等に関する検討	「蕨市公共施設等総合管理計画」が策定されたことを受け、個別計画として、今後の学校施設の改修計画および学校の適正規模・適正配置に関する検討を併せて進める。	「蕨市公共施設等総合管理計画」の基本方針等を確認しつつ、今後の学校施設の改修計画策定に向け、施設の現状把握や改修内容などの検討を進める。検討にあたっては、「蕨市学校適正規模適正配置審議会の設置を求める決議」の議決を踏まえた上で、今後の改修計画の策定に向けた検討内容・検討方法などを調査・研究する。	○	他市先進事例を研究したり、県教育局などが主催する研修会等に参加したりすることにより、今後の改修計画の策定に向けた調査・研究を進めることができた。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 学校教育課	課長	杉田 勝弘
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<p>【業務】 学務係: 児童生徒の就学及び扶助、幼稚園就園奨励費、教職員人事等。 指導係: 学校教育の指導助言と教職員研修、特別支援教育等に関する事。 学校保健係: 児童生徒、教職員の健康管理及び学校環境、安全に関する事。 校医、学校保健会、災害給付等に関する事。 (創意) 常に問題意識を持ち、前例にとらわれることなく創意工夫をする。 (笑顔) 市民や来庁者の立場に立って、親切丁寧な接遇を心がける。 (協働・効率) 他部局課・小中学校との緊密な連携のもと、合理的且つ効率的な事務執行を目指す。 (専門性) 指導主事にあっては地教行法第19条の「～識見、教養と経験がある者」として専門性を十分発揮するため絶えず研修と修養に努める。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
教育センターの充実・日本語特別支援事業	子育てに不安や悩みを抱える児童・生徒及び保護者や日本語による会話などに困難を抱える外国人の児童生徒及び保護者に対する支援体制を充実させる。	教育センターの充実を図るとともに、統括相談員と日本語特別支援教育支援員を配置し、適応指導教室や日本語特別支援体制の強化を図る。	○	統括相談員と日本語特別支援教育支援員を配置し、適応指導教室や日本語特別支援体制の強化を図ることができた。

学校図書館推進事業	学校図書館支援員を小中学校に配置し、図書室の整美や蔵書の管理をととして、読書活動を充実する。	2校に1名の学校図書館教育支援員を配置し、司書教諭や学校図書ボランティア等と連携し、学校図書館教育の充実を図る。	◎	2校に1名の学校図書館教育支援員を配置し、学校図書館教育の充実を図ることができた。
少人数学級推進事業	市臨時教員の採用試験を実施し、優秀な教員を確保する。	小学校3・4・5・6学年において35人程度学級を実施し、きめ細かな教育指導を実施する。	◎	予定通り採用試験を実施し、4名の臨時教員を採用をし、きめ細やかな教育指導ができた。
「蕨市いじめ防止基本方針」推進事業	「いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた組織的な取り組みをする。	「蕨市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止、早期発見の取組を推進する。	◎	「蕨市いじめ防止基本方針」に基づき、早期発見、早期解決を図ることができた。また、「蕨市いじめ防止基本方針」の改定を図ることができた。
就学援助事業	要保護児童生徒及び準要保護児童生徒の保護者への必要な援助を行う。	新入学学用品の支給時期について、見直しを図る。	◎	新入学学用品の支給時期の見直しを図り、新入学中学生の3月支給を行った。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 生涯学習スポーツ課	課長	松永 祐希
----	---------------	----	-------

課の運営方針

<文化活動振興事業>

広く市民の文化・芸術への理解と創造力の啓発を図り、豊かな人間性を養い、郷土文化の振興に寄与することを目的とする。

<わらび学校土曜塾推進事業>

行政・家庭・地域が連携協力して子どもを育む環境づくりを推進し、学習習慣の定着・基礎学力の向上を図る。

<音楽によるまちづくり事業>

音楽によりまちの賑わいを創出し、また、その魅力を市内外に積極的に発信することで蕨市のイメージアップを図る。

<青少年健全育成の推進>

行政・学校・家庭・地域社会が相互に連携し、青少年の健全育成の推進を図る。

<スポーツ施設の適正管理・運営>

市内体育施設の安全で快適な利用を実現するため、計画的に施設管理、整備を進めていく。

<スポーツ・レクリエーション推進事業>

- ・市民の健康増進、体力向上に寄与するスポーツ・レクリエーション活動の機会の充実を図る。
- ・放課後子ども教室などとスポーツ推進委員が連携し、児童・生徒への生涯スポーツ普及・啓発に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
文化活動推進事業	<p>1、公募美術展覧会 市民からの絵画・彫刻・工芸・写真・書道等の応募作品を審査し、入選作品の展示と優秀作品には褒賞を行う。</p> <p>2、文化活動事業助成 各文化団体が実施する周年事業等に対し、活動事業資金を助成する。</p> <p>3、文化ホールくるる等文化・芸術振興事業助成 文化ホールくるる等で指定管理者が実施する事業等に対し、市が共催し、より良質な公演を提供できるよう事業費の一部を助成する。</p>	<p>3つの事業を柱に文化協会等と連携し、市内における新たな芸術家の発掘や市民の主体的な芸術活動を積極的に支援し、市民が文化・芸術に親しむ機会を充実させ拡充を図る。</p>	◎	<p>1. 公募美術展覧会 会場は、文化ホールくるる及び旭町公民館にて開催し、市内3中学校の生徒のほか、武南中学校の生徒にも参加していただいた。</p> <p>2. 文化活動事業助成 29年度は、4団体に対し活動事業資金を助成した。</p> <p>3. 文化ホールくるる等文化・芸術振興事業助成 29年度も文化ホールくるる等で行われ市が共催した自主事業費の一部を助成した。</p>
わらび学校土曜塾推進事業	<p>・児童の自主的な学習(宿題・課題・ものづくり等)をサポートし、子どもたちに学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上、学習習慣の定着を図る。</p> <p>・事業は学校の休業日である土曜日に隔週で行う。</p>	<p>全小学校区での開設も3年目を迎え、スタッフの確保に留意するとともに、事業の充実を図り、事業全体の検証も行う。</p>	◎	<p>29年度は、全小学校区での開設となって4年目となる。保護者及び児童にアンケートを実施し、事業の充実を図るため、ニーズ・課題の把握に努めている。</p> <p>より多くの児童に参加していただくため、27年度から学期ごとの受付から年間受付に変更し、児童数増につながった。</p>
音楽によるまちづくり事業	<p>平成27年度に実施した「子ども音楽大学」「学校への音楽家派遣」「市民音楽祭」をより充実させ引き続き実施する。また、その情報を積極的に市内外に発信する。</p>	<p>3つの事業を蕨市音楽家協会等と連携して引き続き実施し、より魅力ある事業を展開する。また、情報発信についても情報紙・HP等をより充実させ、市内外に積極的に発信することにより賑わいを創出する。</p>	◎	<p>学校への音楽家派遣や音楽イベント情報を集約した情報紙を発行したほか、11月にはメイン事業となる第3回蕨市民音楽祭をこれまでと事業形態を変え、まちじゅうに音楽があふれる事業として展開できた。</p>

少年センター事業	市長委嘱の補導員による街頭補導等を実施するとともに、啓発活動も実施する。	青少年の健全育成に寄与するため、「愛のひと声」により、地域による青少年の見守り活動を充実させる。また、宿場まつりにおいて多くの方に活動を理解していただけるよう啓発活動を行う。	◎	市長委嘱の補導員80名による街頭補導や有害情報パトロールを実施。また、機まつりなどでは特別補導も実施した。
市内体育施設の管理・整備	施設の安全で快適な利用を実現するための管理運営及び施設の改修を行う。	利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう指定管理者との連携強化によるサービス向上及び適切な施設改修を実施する。	○	状況に応じて修繕を実施した。
公共スポーツ施設予約システムの修正	市民体育館及び信濃わらび山荘を対象施設に加えるシステム修正を行う。	市民体育館のリニューアルオープン及び信濃わらび山荘の平成29年度受付時までにシステム修正を行う。	◎	29年度は、市民体育館と錦町スポーツ広場の予約システムが稼働し、拡充を図ることができた。
市民体育館耐震補強等工事	市民体育館の耐震補強工事及びアリーナ改修・エレベーター改修・トイレシャワー室改修工事等を実施する。	利用者の安全を確保する耐震化工事と、利用環境を向上させる改修工事を行うとともに、休館中における利用者の活動場所確保への情報提供を行う。	◎	29年6月に竣工し、無事リニューアルオープンすることができた。
錦町スポーツ広場人工芝化	人工芝化に向けた設計業務(委託)を行う。	錦町スポーツ広場をより多くの方に利用していただけるよう、人工芝化だけではなく、フェンス取替等の改修内容も設計に組み込む。	◎	降雪の影響により若干工期が延びたが、無事30年2月に竣工でき、リニューアルオープンを迎えることができた。
スポーツ・レクリエーション推進事業	スポーツ・レクリエーション団体及びスポーツ推進委員と連携し、既存事業を見直し、さらなる充実や参加者拡大を図る。また、ニュースポーツ等の普及や指導者育成を実施していく。	子どもから高齢者まで参加できる生涯スポーツ・レクリエーションを推進し、市民のニーズにあった魅力ある事業を展開する。また、体育協会と連携し、スポーツ体験機会の拡大や、指導者育成事業の充実を図る。	○	前年度に引き続きスポーツ推進委員と連携し、放課後子ども教室や地域のイベントに出向きニュースポーツの普及に努めた。また、体育協会の加盟団体(フロアボール)と放課後子ども教室の連携もスタートした。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 信濃わらび山荘	所長	松永 祐希
----	-------------	----	-------

課の運営方針
<p><信濃わらび山荘利用者拡大事業> 恵まれた自然環境の中で、集団宿泊による野外活動を通じて、青少年の健全な育成を図るとともに、市民の憩いの場を提供し心とからだの健康の増進を図る。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
信濃わらび山荘利用者拡大事業	信濃わらび山荘事業推進計画(平成27年度～平成29年度)に基づき、事業を推進する。	市民が安心して快適に過ごせるよう環境整備を進め、ツアー等の各事業のPR方法を検討し、利用者の拡大を図る。	○	信濃わらび山荘事業推進計画(平成27年度～平成29年度)に基づき事業を実施。 ・小破修繕等の実施 ・山荘利用促進事業(「山菜まつりツアーとレタスの朝採りツアー」の2事業を実施)。 29年度の利用者数は、前年度と比較し減少。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 中央公民館	館長	加納 克彦
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<p>○親切で公正な対応、さわやかな窓口を旨に“来てよかったと思ってもらえる”公民館運営を行う</p> <p>○市民の学習要求に応える質の高い学習機会を提供する。</p> <p>○計画的な施設等の管理を行い、安全できれいな施設運営を行う。</p> <p>○公民館の耐震化について総合的、計画的に進める。</p> <p>○各公民館の連携を図るとともに、職員間においても情報の共有を進める。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
必要課題や地域課題に係る学習活動	家庭教育学級、高齢者学級、青少年健全育成事業など各世代の必要課題や要求課題を取り上げて事業を実施する。	公民館活動にこれまで参加してこなかった人たちが参加のきっかけとなるよう魅力ある事業の展開	◎	予定の事業を開催し、けっして数は多くはないものの、初めて公民館講座に触れるような参加者も見られた。
生涯学習の啓発及び成果発表	公民館で活動する団体の成果を発表する機会の開催。また隔年で開催している生涯学習活動推進事業の実施	学習者主体の生涯学習フェスティバルの開催のほか、奇数年度には市内7つの公民館の利用者が一同に会しての啓発活動の実施	◎	利用者が中心となって、日頃の学習成果を発表できる機会としてフェスティバルや春のコンサート(H29.3月実施予定)を実施。なお全7地区のうち耐震等工事で休館中の北町の地区フェスはH28年度の開催を見送っている。
学習情報の提供と相談体制の整備	生涯学習情報の情報提供を行う生涯学習コーナーの設置。学習相談の開設	ホームページや公民館館報の定期発行。生涯学習コーナーの充実	◎	公民館報「ヒューマンシティわらび」の定期発行やホームページ更新などを随時行った。

施設等の管理	施設の老朽化に伴う修繕を計画的に行う。経年劣化した設備の改修や整備を行う。	施設の現状を把握しながら、関係課等と連携を図り、計画的な施設改修を行う。	○	机・いす・施設設備などの備品類の入れ替えや新調など、随時対応を行った。
施設の耐震化	北町公民館の耐震補強等工事、中央公民館の耐震補強等設計を行う。	耐震化に向けて計画的な進行を図る。	◎	北町・中央とも当初の予定どおりに終了した。
北町公民館・市民体育館利用者の受け入れや活動支援のための情報提供	北町公民館・市民体育館の休館中、利用者の受け入れを円滑に行う	北町公民館や市民体育館利用者の生涯学習活動が停滞することなく、活動が継続できるような調整や支援、利用用途に沿った施設の情報提供などを行う。	◎	団体側の事情や希望、また館の設備面などもあり、すべての団体が中央公民館の利用が叶うわけではないが、町会等を含め一定の北町関連の団体の利用が見られている。また中央休館中は逆の状況も見られ、互いの状況を理解し互いに調整する姿勢で臨んでいる他施設の利用団体にも感謝申し上げたい。
委員の委嘱	公民館運営審議会委員や地区生涯学習連絡会委員の委嘱	円滑に公民館運営審議会委員や地区生涯学習連絡会委員の委嘱ができるよう取り組む。	◎	いずれの委員ともH28.6.15から2年任期の委嘱を、予定通り行った。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 西公民館	館長	星野 尚子
----	----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、さわやかで親切、迅速な対応と地域性を活かしたソフト事業の実施 ・安全・安心・きれいな施設運営と正確で公平、公平な貸し館業務の推進 ・学校、保育園、児童館や地域団体、企業、コミュニティ委員会等と連携した協働事業の推進

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
家庭教育学級の開催等子育て支援事業	「0・1・2ちゃんママおしゃべり広場」や「リトミックとワンポイントアドバイス」等の事業を充実して、子育て支援と家庭教育の向上を図る。	専門的な講師の派遣等による家庭教育力の向上と、子育ての悩みや不安をなくすため、参加者どうしの交流を深め、自主的な活動を支援する。	◎	目的に沿った講座を開催することができ、参加者どうしの情報交換及び交流を図ることができた。
青少年健全育成事業	ジュニアリーダー会の育成、小学校3年生一泊キャンプなど、錦町地区青少年健全育成推進委員会と協働して地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。	ジュニアリーダー会の活動を支援し、青少年の健全育成を図るとともに、社会活動の場の提供を促進する。	◎	錦町地区青少年健全育成推進委員会の指導により、ジュニアリーダーが中心となり事業を開催。子ども会育成会やPTAなど地域団体と連携し、充実した活動ができた。

市民協働事業の推進	わらびりんごの普及啓発事業、プレーパークなど市民主体の事業を推進し、町会や地域団体、地元企業などからも支援を受け地域一体となった事業に展開する。	地域各団体や企業等と連携協力のうえ事業を進め、地域力の向上を図る。	○	コミュニティ委員会や地域各団体、企業等と連携、協力のうえ、地域一体となり事業を進め、地域力の向上を図ることができた。
施設整備事業	利用者にとって、安全かつ利便性の高い施設として環境を整備する。	施設の修理及び備品の整備等、安全で使いやすい施設運営を図る。	○	空調機及び自動ドア、塀の修繕、小破修繕を随時行った。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 南公民館	館長	坂本 晃
----	----------	----	------

課の運営方針
<p>・蕨市の教育振興基本計画・第3次生涯学習推進計画・公民館重点施策及び事業計画等との整合性を図るとともに、その時々々の学習課題・地域課題なども意識しつつ各種の事業を行う。</p> <p>・他館を含め事業に関する情報等の収集・共有に努め、職員の研修や打ち合わせ等を通して事業内容の工夫・向上を図る。</p> <p>・各種の課題にはひとつひとつ丁寧に取り組む。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
家庭教育の支援 ／ のびのび子育て 学級、にこにこ 1・2パーク、0歳 児ママのふれあ い広場	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児に関する学習や遊びなどを通して、親子のふれあいや参加者同士の交流を図る。	子どもの年齢ごとに、年間を通じて子育てについての学習や親子のふれあいを深めるとともに育児経験者・保健師などによる相談の機会も設け、育児不安やストレスを解消し、楽しく子育てができ、また、保護者自身が活動できる場を提供するとともに、新たな公民館利用者の掘り起こしにつなげる。	◎	南町児童館や他の公民館と重ならないよう調整をしながら、親子でできる「南町ならでは」の内容を中心に、新たな試みも取り入れて、親子のふれあいや参加者同士の交流の機会を提供できた。
子ども自然体験 活動 ／ いもっ子クラブ	畑での農作業など自然に親しみながら、食べ物のおおきさや野菜を作る難しさなどの体験を通して命のおおきさを学ぶ。	体験することが少なくなった畑作業など自然の中での農作業体験や環境学習を通し、子どもたちの自主性や創造性、協調性などを身につける。	◎	今年度は、日生財団より耕運機やリヤカーの購入援助を受け、効率よく、年間を通じて子どもたちの体験活動や運営に携わる大人のスタッフとの交流などの機会を提供できた。

<p>高齢者学級／ みなみ学園</p>	<p>60歳以上の人を対象に、年間を通して参加者同士の交流を交えながら、趣味・教養などを学ぶ。</p>	<p>高齢者や定年を迎えた方々に、健康、教養、趣味等を学び、生きがいのある生活を送るとともに、地域で継続的に活動してもらえるようにする。</p>	<p>○</p>	<p>年間を通じて開催し、趣味・教養など学習の機会や参加者同士の交流の機会もつくり、生きがいのある生活を提供できたが、バス利用による移動学習が旅行業法の関係で実施できなかった。</p>
<p>施設整備事業</p>	<p>利用者にとって、安全かつ利便性の高い施設として環境を整備する。</p>	<p>施設・設備の老朽化に伴う各設備の修理及び備品の入れ替え等を適宜行う。</p>	<p>◎</p>	<p>2階和室の畳の入れ替えや2、3階のテーブルの取り換え、科学室の冷蔵庫の入れ替え等ができた。</p>

平成29年度 課長方針

部課	教育部 東公民館	館長	岡部 次男
----	----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・創意・笑顔・協働・効率に業務を遂行し、地域住民の親近感と信頼関係を育む公民館とする。 ・地域住民の学習要求に応える事業の質的充実を推進しながら、子どもから高齢者までに対応した学習をバランスよく実施し、各世代の学習機会の拡充を図る。 ・参加満足度が高く効果的な事業を職員の創意工夫と住民との理解・協力で実現する。 ・住民をはじめ各種団体等が安全に活動でき、利便性の高い生涯学習施設として環境整備を推進する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
各世代等の学習内容の充実	家庭教育学級(0歳児～就学前児とその親を対象)、青少年事業の定期講座(塚越プレステージ)、高齢者学級(プラチナ学園)、現代的課題の取組事業など、各種講座を開催する。	各世代等に向けたそれぞれの持つ現代的課題や地域課題を取り上げ、学校教育とは別の社会教育を実践するなど、生涯学習の推進を図る。	◎	家庭教育学級では、親子のふれあい、母親の仲間づくりに繋がり、青少年事業では、自然体験、スポーツや料理づくり等で様々な体験を通して学習することができた。高齢者学級では、高齢者がお互いに学びあい、健康で生きがいをもち、仲間とともに生涯学習に取り組んだ。
塚越地区生涯学習フェスティバル	生涯学習連絡会がフェスティバルの実行委員として主体的に活動し、より良い生涯学習フェスティバルを開催する。	地域住民及び各種団体活動の事業を取り入れた事業を展開するとともに、住民の手による魅力あるイベントを企画する。	◎	オープニングセレモニーでは、新企画で座談会「塚越を語ろう」を地域の4人の方に、塚越の歴史や知らないことをお話し頂き盛況であった。その他、利用者団体による学習成果の発表、スポーツ、地域の音楽家によるコンサート等、地域の生涯学習の推進を図ることができた。

シニア世代事業	職業や学習等を通じて培ってきた経験を活かし、地域社会で活躍できる機会を設け、地域の教育力の向上を図る。	各種講座をとおして、自分の生活する地域に入っていきやすいきっかけをつくるとともに、まちづくりに関心を高めてもらい、地域づくりの担い手として個々の経験や技術を活かし、活躍していただく人材を発掘・育成する。	○	おとなの女性のための着付け&日本舞踊講座や合唱講座等を生涯学習の入口として実施し、公民館に足を運ぶことで、生涯学習のきっかけとなった。
施設管理	利用者にとって、安全かつ利便性の高い施設として環境を整備する。	施設の老朽化に伴う各設備の修繕及び備品等の入れ替えを実施する。	○	空調設備の修繕や非常階段の手すり設置等を行った。また、備品では、会議用テーブルや椅子を購入し施設整備に努めた。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 下蔵公民館	館長	大山 麻美子
----	-----------	----	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の主体的かつ、自主的な生涯学習活動が行われるように各種団体や地域の人材との連携を強化し、多様な学びの場を提供します。 ・常に市民のニーズを聞き、向上心を充足できるような事業の企画を図り、地域活動の発展につながるように支援します。 ・音楽を地域に広める公民館の役割を意識し、音楽を広める会との協働でコンサート事業を開催します。 ・市の公共施設マネジメントにそった計画的な施設管理・運営を図ります。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
音楽を地域に広める事業	音楽を地域に広める公民館という特色を生かし音楽を広める会との協働により、音楽で心の豊かさや潤いを提供する。	コンサート事業実施により、市民が気軽に良質な音楽に親しめる機会を提供し、音楽を広める会への支援を行うと共に、新人コンサートを定期的に開催し、音楽家を目指す市民を応援する。	◎	年3回のコンサートを「音楽を広める会」と共催で開催。固定ファンに加えて、小さい子どもがいる方や障害がある方など普段は気軽にコンサートに参加ができないような状況の方にも客層が広がってきており 地域に音楽を広める公民館として一定の役割を果たしている。
地区生涯学習フェスティバル	利用者団体が主体となり、自分達の学習成果の披露と公民館活動の広がりを進める。	利用者や地域住民の主体性を尊重し、地域活動の担い手の育成と参加者の拡大を図る。また、子どもも主体的に参加できる場を提供し、参加者層を広げるとともに、多世代交流の機会を増やす。	◎	第23回地区生涯学習フェスティバルを9月1～3日に開催。利用者による自主企画や自治会や地域の店舗の協力による模擬店開催など地域活動の担い手の育成の場となっている。また、今年度は中央7丁目に整備予定の特別養護老人ホームの方を講師に招き、介護予防や地域福祉への関心を高める一助となった。

家庭教育学級	0歳児～3歳児を対象とした事業を開催し、乳幼児期の発達や保護者同士の交流を支援する。	参加者の自主的な活動を促し、公民館活動から学校、地域活動への広がりを支援する。	◎	子育てサロン・家庭教育学級を年42回開催。参加者の自主的な活動をとおして子育ての輪が広がり、保護者同士の交流や情報交換の場となっている。
高齢者学級	高齢者の学習・介護予防につながる事業。仲間作りの機会と生きがいづくりを支援する。	前年度参加者のアンケート結果や日頃から公民館利用者のニーズの把握に努め関係機関との連携を図り、時代に即した講座を企画する。	◎	年14回開催。介護予防体操や防災・相続等現代的課題も取り入れた講座を実施し、より健康で生きがいのある生活をおくるための支援を行った。
施設管理	市の公共施設マネジメントの方向性にそって、安全安心で使いやすい施設として環境整備を図る。	計画的な修繕により、安全、安心で使いやすい施設運営を図ると共に、備品の整備、買い替え、充実に努める。	○	アンプ交換・冷温水発生機修繕・駐車場ライン引き直し等の修繕を実施。すでに建設から20年以上が経過し、老朽化が進んできており今後も計画的な修繕を要する。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 北町公民館	館長	鈴木 啓文
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・親切・丁寧な対応を心掛け、地域に親しまれる公民館づくりを目指す。 ・子どもから高齢者まで、各世代のニーズに合った事業を展開する。 ・地域の要望に耳を傾けながら、課題等の解決に向け積極的に取り組む。 ・誰もが気軽に利用できるよう、安全で明るくきれいな公民館としての環境整備を図る。 ・施設の耐震化に向け、計画的に推進する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
施設整備事業	利用者にとって、安全かつ利便性の高い施設として環境整備を図る。	平成28年度に引き続き、施設の耐震化及び設備等の改修工事を実施する。	◎	平成28年7月に耐震・改修工事着手し、平成29年6月末に完了。

乳幼児期対象講座	体育館・児童館との複合施設である特性を活かし、連携を図りながら、市民の関心が高い「健康づくり」をはじめとした多様なプログラムを組み、質の高い公民館事業を提供する。	平成28年度新規事業「北町おしゃべりサロン」の継続ほか、育児中の母親が安心して学習できる場を提供する。	親子の触れ合いの大切さを学ぶとともに、子育て世代の輪を広げ、育児に対する不安や悩みを解消しながら、自分に合った育児の方法を身に付けてもらうことを目的とする。	○ 施設の耐震・改修工事により平成29年度については、7月～3月の9か月間で各種講座を実施。体育館・児童館との複合施設という特色を活かし、共催による事業展開で多様なプログラムを組むことができた。	「ママ北会」、「おしゃべりSALON」、「親子カフェ」等、北町児童館と連携し、子育て中の母親を対象に、専門家による子育てについての悩み相談や育児に関する学習、親同士の情報交換の場の提供等を行った。
青少年期対象講座		小学生を対象に、プロスポーツプレイヤーや運動指導士による専門的な体力向上プログラムを実施する。	身体を動かすことに興味を持ってもらい、全国的に低下傾向にあるといわれる小学生の基礎体力向上を図る。		「きたまちキッズスポーツクラブ」や「冬・春休み子ども教室」では体育館と連携し、専門的かつ多彩な体力向上プログラムを取り入れ、小学生に対し体力向上の機会を提供することができた。
シニア世代対象講座		健康づくりや趣味・教養など、シニア世代の多様なニーズに合わせた年間プログラムとする。	生涯学習活動に興味を持ち、自ら学び主体的に地域参画するきっかけをつくり、活動を通じて高齢者の生きがいと健康づくりを推進する。		年間を通じて行う高齢者学級は、例年より少ない回数での開催であったが、健康・防災・音楽等、高齢者の生きがいと健康づくりのきっかけとなるような様々なメニューの講座を実施した。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 図書館	館長	小栗 信二
----	---------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が必要とする資料や情報の提供を通じて、市民生活に役立つ魅力ある図書館を目指す。 ・図書館の基本的な機能である、資料の収集、整理、保存及び提供を充実させ、図書館サービスの向上を図る。 ・イベントの実施や充実したホームページを通じて、図書館で受けられるサービスを周知し、利用者の拡大に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
施設的环境整備	施設の整備を進め、安全性や利便性の向上など、利用環境の改善を図る。	適切に修繕等を行い、安全性や利便性の向上など、利用環境の改善を図る。	○	適宜、必要な点検や修繕等を実施した。
図書館の耐震補強工事	平成30年度に予定される耐震補強工事に向けて、設計委託等を計画的に進める。	図書館の耐震化に向けて、設計委託等を計画的に実施する。	◎	耐震補強工事設計委託等について計画通りの進捗である。
利用者拡大に向けた取り組み	図書館サービス向上等により、利用者の拡大を図る。	図書館サービス向上等により、来館者数及び貸出件数の増加に繋げる。	△	祝日を全て開館としたが、図書館サービス向上等のため今後も引き続き研究していく。

開館日数等の増加に向けた取り組み	現在実施している火曜日～金曜日の祝日開館を継続し、開館日数等の増加について引き続き検討を進める。	開館日数等の増加について引き続き検討を進める。	○	祝日を全て開館としたが、開館日数等について今後も引き続き研究していく。
子ども読書活動の推進	「子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関と連携、児童書の充実、子ども向け事業の継続等を実施する。	子どもたちが図書館を利用することにより、読書活動の推進を図る。	○	「子ども読書活動推進計画」の未達成項目について担当者会議を開催し、計画の延長期間中の実施計画を策定した。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 視聴覚ライブラリー	館長	小栗 信二
----	---------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚ライブラリーの機材や、教育的な映像ソフトの利用について広く市民に周知し、有効活用を推進する。 ・「日曜子ども映画会」など、視聴覚教育に関わる各種事業を開催する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
機材及び資料の利用推進	プロジェクター等の機材及び視聴覚資料の貸出数の増加を図る。	多くの方に利用していただけるよう、視聴覚資料の収集及び提供、機材の貸出しについて、周知に努める。	△	利用実績は同程度であり、引き続き周知や研究等が必要である。
視聴覚資料の充実	DVD及びCDを中心とした教育的かつ質の高い視聴覚資料を充実させる。	多くの方に役立つ、魅力ある視聴覚資料を収集するとともに提供していく。	○	歴史、風土などの映像資料を多く購入し、市民に提供することができた。
自主事業の開催	日曜子ども映画会等の開催	自主事業である「日曜子ども映画会」等の開催により、多くの方が楽しんだり、学んだりできる、魅力ある視聴覚資料が紹介できる機会を提供する。	○	参加実績は前年度と同程度であり、今後も魅力ある視聴覚資料の紹介をしていく。

平成29年度 課長方針

部課	教育部 歴史民俗資料館	館長	佐藤 直哉
----	-------------	----	-------

課の運営方針
<p>・郷土の歴史・文化に関する資料収集・調査研究を行い、文化財の紹介や活用に努める。</p> <p>・魅力のある展覧会や児童を対象にした体験講座等を開催することで、幅広い年齢層の市民から資料館や郷土の歴史・文化に関心をもっていただけるようにする。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
 ○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
 △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
文化財の保存と活用	郷土の歴史・文化に関する資料収集・調査研究し、重要な資料については文化財の指定を行う。文化財めぐりの参考となる「わらび文化財マップ」の改訂や、文化財説明板の設置及び修繕を進める。	郷土の歴史・文化に関する資料収集・調査研究を行い、重要な資料については文化財として指定し、その紹介や活用に努める。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・「研究紀要」第15号を3月に発刊。 ・岡田本陣家より資料寄贈の申し出があり、整理・研究に着手 ・指定文化財の三学院「馬頭観音塔」に説明板を設置。 ・岡田家文書の本目録作成については、約1,000点の史料の精査が完了した。 ・講演会「双子織を織った女たち」開催(10/4開催 参加者61名)
特別展等事業	近隣市を含めた芸術家の作品を紹介する特別展や児童を対象にした体験講座等を開催する。	魅力のある展覧会等を開催することで、幅広い年齢層の市民の来館を促し、市の歴史・文化に触れる機会の充実を図る。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年10月28日から12月17日まで「オータムギャラリー」を開催 入館者数9,167人 ・小学生対象の「夏休み体験講座」を開催し、児童に蕨市の歴史・文化に触れるとともに、ものづくりの楽しさを体験してもらった(9講座 参加者174名)。 ・平成30年2月24日から4月29日まで第37回特別展を開催
平和事業	蕨市が甚大な空襲被害を受けた経緯をふまえ、開館以来の継続事業として「平和祈念展」を開催する。	「戦争」という事実を風化させることなく、次世代に戦争の悲劇と平和の尊さを伝えていく。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年7月29日から9月24日まで第28回平和祈念展を開催。 入館者数5,512人

平成29年度 課長方針

部課	教育部 学校給食センター	所長	越 正男
----	--------------	----	------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・安全、安心な給食提供へ向け、衛生管理の徹底を図る。 ・学校給食の理解・啓発に努める。 ・食育の推進及び充実に努める。 ・食の安全確保に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
衛生管理の徹底	施設・設備の整備、修繕	定期的な保守点検や修繕等で調理機器類の機能を維持するとともに、計画的な施設・設備の更新を行い、衛生管理基準に対応した調理場とする。	○	限られた予算の範囲内で、緊急性や給食提供に対する影響度等の優先順位を考慮した施設・設備の整備・修繕が概ねできた。
	ドライ運用の推進	調理作業時は床からの跳ね水による二次汚染を防止するため、床を乾いた状態で使用するドライ運用を徹底する。	◎	下処理用のシンク2台を槽の内側上部に水返しが付いたドライ仕様に更新したことで、水こぼしを大幅に減らすことができた。

学校給食の理解啓発	学校給食費の未納問題対策	保護者に学校給食への理解・啓発を図るとともに、給食費の未納削減に取り組む。	○	年度当初の滞納繰越額が増加してしまったため、電話や訪問による督促時期を早め、徴収体制を強化した。また、各学校との連携を密にし、現年度分の収納率向上に努めた。
食育の推進	学校訪問栄養指導	給食を生きた教材として活用し、児童・生徒の正しい食事の在り方や望ましい食習慣の形成を図る。	◎	小学第3学年及び第5学年の栄養指導では、学級活動(食育)に指導案に基づいた学級担任とのTTによる指導を実施し、指導内容の充実を図った。
	地産地消への取り組み	生産者の理解・協力を得て、給食に地場産物を取り入れるとともに、11月の「彩の国ふるさと学校給食月間」に交流給食を開催する。	◎	地場産野菜を活用した給食提供及び交流給食の開催は、計画どおり実施することができた。
食育の安全確保	給食用食材の放射性物質測定	当日使用する食材6品目と小・中学校の出来上がり給食について、放射性物質の測定を継続し食の安全確保に努める。	◎	滞りなく実施できた。